

財団からのお知らせ

新刊紹介

みんなの知らない花虫図鑑

ーハ放サンゴ・スナギンチャク・ツノサンゴ・ハナギンチャク・ホネナシサンゴ

榎田 優花／喜瀬浩 輝／ジェイムズ・ライマー／古井戸 樹／野中正法（共著）

A5判, 2026.07, 海文堂出版
本体3,000円＋税



この図鑑は、イソギンチャクやサンゴの仲間（花虫類）のうち、これまであまり注目されてこなかったグループにもスポットライトが当てられている。馴染みのあるグループからユニークなものまで、6目70属を収録している。生態写真に加えて顕微鏡写真、骨片や骨軸棘のSEM画像も適宜添えられており、研究コラムも多数収められている。花虫類の属を網羅しており、同定が難しいこれらの仲間の良い味方となる一冊である。

沖縄のウミウシ

DNA 解析による最新の分類図鑑1089種

今川 郁（著）

A5判, 2026.07,
誠文堂新光社
本体5,600円＋税



本書は、DNA 解析を用いて同定・分類を行い、沖縄で見られるウミウシ1089種を収録した図鑑である。著者は沖縄在住のダイビングインストラクターで、ウミウシ中心のガイドを行いながら、22年間にわたりウミウシを観察・撮影してきた。ウミウシの研究者との交流もあり、和名の新称も標本に基づいて提唱されている。掲載種は多岐にわたり、沖縄だけでもこれほどの多様性があることがうかがえる一冊となっている。

観察会報告

親子で楽しむ海の生き物「わくわくウォッチング」

2026年5月30日（土）に、神奈川県横須賀市にある観音崎自然博物館で行いました。今年は晴天に恵まれ、予定どおり開催いたしました。遠方からもお集まりいただき、参加者は36名（高校生以上23名、中学生以下13名）でした。

観察会は、観音崎自然博物館の皆さまに実施していただきました。干潮時間が早かったため、集合後すぐにレクチャーを受けて準備を整え、磯に向かいました。今回は危険なアカクラゲが多く流れ着いていましたが、事前に注意すべき生物をしっかりとご指導いただいたので、皆さん無事に磯での観察を行うことができました。お目当ての生き物を尋ねると、ウミウシと答えてくれるお子さんが多かったのが印象的でした。この観察会では、ウミウシだけでなく、岩の表面にいる生き物や、石をひっくり返して裏に付着している動物など、さまざまな生き物を観察しました。

磯から上がった後、海岸に打ち上げられている貝を拾って戻り、午後には貝調べを行いました。図鑑を使って貝を同定し、ラベルを付けて保管するまでの一連の方法を学びました。観音崎では初めてというタカラガイの仲間も見つかり、盛り上がる場面もありました。

今年も無事に終えることができました。参加者の皆さま、観音崎自然博物館の皆さまに心よりお礼申し上げます。



海岸での説明



磯での観察



貝調べ（説明を受けて、図鑑で同定）